

応用部門 Q&A (11_30_審判会議後)

(2) チーム編成

Q: 競技中に操縦者を変更してよいか?

A: 「1チームの生徒は1～6名。操縦者は2名までとし、他の生徒をアシスタントとする。」との表記があるので、操縦者の2名であれば、競技中に自由に変更してよい。また、リモコンの数の制限はないので2個のリモコンを2名で操作してもよい。

(4) アイテムの規格・設置位置

Q: アイテムに幅50の透明PPテープを必要個所に貼るとはどこに貼る?

A: **上蓋の差し込み部の1辺**のすき間を埋めるように貼る。

Q: アイテムの設置の向きは?

A: 上蓋の差し込み部が中央に向くように設置する。

(6) 競技内容

Q: 「空中であれば相手エリアに侵入しても構わない。そのとき、相手ロボットの触れた場合はファールとする」とあるが、アイテムを取るために侵入したときに、相手ロボットからぶつかりにきた場合は?

A: 以下の3パターンで対応する。

① 侵入した動きの中で相手ロボットに接触した場合は、侵入したロボットのファール。

② 侵入したエリアで相手ロボットの正当な動きの範囲で相手ロボットから接触した場合は、侵入したロボットのファールとする。(相手ロボットにそのエリアの優先権があると判断するため。)

③ 相手ロボットがファールをもらうために明らかにぶつかりにきたと認められる場合は、ロボコン精神に反する行為に抵触するとして相手ロボットをファールもしくは失格とする。

Q: 共有エリアでの接触は?

A: お互いに正当な動きの中でアイテムを取ろうとしている場合の接触はファールとしない。

ただし、明らかに相手側へ押し込むなどの行為が見られた場合はファールとする。(状況によっては失格とする。)

Q: 相手側にアイテムを崩すような動きをした場合は?

A: **自然に相手側にアイテムが崩れた場合、相手のタワーに影響がない場合(少ない場合)は、試合を継続する。ただし、相手のタワーが崩れてしまった場合は、再試合を行う。**

明らかにわざと相手側にアイテムを崩すような行為をした場合はファールとする。(状況によっては失格とする。)

Q: ファールの後の対処は?

A: 試合記録用紙に「スタート位置から規定サイズに直し再スタート」とあるので、ピットインと同様にスタート位置にセットして審判の許可を得て再スタートする。

Q：1つのタワーとみなす例の「接触」の判定は？

A：接触している場所を横から見て、すき間の有無を反対側の光が完全に見えるか見えないかで判断する。複数の審判の目で角度を変えて確認し、光が遮られている所があれば接触とみなす。

Q：タワーを構成しているアイテムのうち、1個でも建設予定エリアから完全に外にはみ出している状態の判定は？

A：はみ出しているアイテムを真上から見て、一部でも建設予定エリア内に入っていれば、エリア内を認めタワーと見なす。（サッカーの三苦の1mmのように上空から複数の審判の目で確認する。）アイテムのうち1個でも完全に外にはみ出していれば、そのタワーは建設されたものとは見なされない。

Q：コート横の2×4材にアイテムが乗ったり、斜めに傾いたりしてしまい、どうしてもアイテムを取れなくなった場合の対処は？

A：2×4の上部までをコート内とみなすので、外部に押し出してロストアイテムとなるようにするか、共有エリアに押し込むようにする指示をする。

Q：建設エリアにアイテムの一部が触れている状態で傾き、2×4材にかかってしまったときの対処は？

A：2×4にかかっているアイテムや2×4の上部にあるアイテムが、建設エリアにアイテムの一部に触れていればその建設エリア内のアイテムの一部とする。ただし、外部に押し出されているアイテムが触れている場合は、押し出されているアイテムはロストアイテムとして審判が取り除く。

Q：勝敗が決まらない場合のチーム代表者による抽選方法は？

A：大会本部で用意したくじで決定する。